

令和7年度かねやま未来会議 議事録

2025.6.4 役場町民ホール

記録：総合政策課政策推進係

(参加者敬称略)

欠席団体：金山町森林組合/町区長公民館長連絡協議会/町 PTA 連絡協議会/金山町スポーツ協会

○町長あいさつ

〈佐藤町長〉

各団体からご多忙のなかご出席いただきありがとうございます。

本日は町の課題についてご意見をいただきたい。どうぞよろしくお願いいたします。

県の人口が105年ぶりに100万人をきった。資料にもあるが、人口減少率が高い。特に真室川と金山。そんな状況だが、なんとか人口減少カーブをゆるやかにしたい。若い職員で構成されている、今年度のプロジェクトチームでも、人口減少や少子化がテーマとなっている。課題を直視しながら対応を進めている。

総合発展計画についても、皆さんからご意見いただきながら進めていきたい。昨年、町制施行100周年を迎えるにあたり、『かねやま未来ビジョン宣言』を行った。意識しながら関係事業を進めていく。本日は、総合発展計画の一部改訂や補助事業等評価について協議を行う。一つでも二つでも多くのご意見を頂戴したい。

○協議・意見・情報交換 座長：佐藤町長

①第5次総合発展計画の一部改訂について

〈事務局〉

事前に資料を配布しており、アンケートも記入していただいているので簡単にお話する。この後の情報交換に時間を使いたいと思う。

第5次総合発展計画は、令和3年度に策定してから4年目になる。基本的には10年計画となっているが、4年間の中で、人口や社会状況が、コロナ禍や少子化の影響を受け大きく変化した。そういった状況に合わせて一部改訂を行う。今年度8～9月に公表を予定している。目標値や中期ビジョンを改訂。各課でも更新を行った。DX推進や健康づくり事業、かねやま未来ビジョン宣言を追加。細かい文言等微調整あり。町HPにも掲載し、パブリックコメントも集める。

配布している計画の資料は確定したものではない。記入いただいたアンケートも活用し、皆さんの意見を反映しながら仕上げていきたい。

資料 P20 の人口ビジョンは暫定。今年度行う統計調査(国勢調査)が終わり次第、年度末に情報を更新。資料 P35 特に注目してほしいのが、『2 重点プロジェクトと戦略目標⑥・⑦』を今回から追加した点。戦略目標⑥『デジタルの力で町や地域の暮らしを持続発展させ、幸福なものに変革する』DX推進で生活を便利に。書かない窓口など、高齢者や障がい者に優しい社会を目

指す。戦略目標⑦『官民連携の健康づくりを進める』過去に、介護保険料が県内で1番高い時期があった。ウォーキングイベントなどの健康づくり事業が、介護保険料の減額につながったと思う。

戦略目標③『出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる』当初は『結婚・出産・子育て(以下省略)』としていたが今回、『出会い』を追加。昨年この場において、若者の出会いが無いと意見をいただいた。最上広域でも婚活イベントの企画・開催に取り組んでいる。いまだに取り組みが少ないと意見をいただくこともある。いいご意見があれば助言いただきたい。

〈佐藤町長〉

P25を見ると本当に自然減が多い。社会減も多い。グラフを見ると、年間約150人減にはなってしまう。10年経過すると1500人ほどの減がでてしまう。P27 合計特殊出生率の推移では、1990年2.64人から2021年1.26まで減少している。P31 平均寿命について、全国平均「女性:87.5歳、男性81.5歳」、県平均「女性:87.4歳、男性:81.4歳」、町平均はそれより若干低い。

【意見等】

〈男性2〉

グリーンバレーや農業、地域おこし協力隊が頑張ってくれている。かぶりば本屋、カムロヒュッテ等々よく利用している。ジムコミなど、民間の方が町に入って活性化を促してくれている。今後の展開を教えて欲しい。

〈佐藤町長〉

現在、キャンプ場は有屋建設、スキー場は株式会社ライズ、ホテルや温泉、遊学の森やマルコの蔵は株式会社グリーンバレー神室振興公社が指定管理を行っている。指定管理期間はR8.3.31までとなっている。その後の指定管理業者募集のための要綱を作成中。5か月かけて募集を行う予定。キャンプ場の利用客は続々と増えている。スキー場は今年度も株式会社ライズに管理していただく予定をしており、昨年度の経験を活かしてほしい。地域おこし協力隊について、『株式会社金山の未来』を設立した。今後の展開に期待できる。こういったところで効果を期待。

〈女性2〉

P25の社会増減とは。

〈佐藤町長〉

前提に、自然増減は、死亡または出生による人口の増減のこと。そして社会増減は、町外への進学や就職のための転出いわゆる『社会転出』や、Iターンなどの『社会転入』がある。それら転出入を相殺したものを社会増減という。

〈女性 2〉

資料を見ていると、マイナス面が前面に出すぎていると感じる。これらの課題を踏まえて、町を良くしていこうというのは分かるが委縮してしまう。年配の方の死亡件数が多いのもわかる。

子どもが高校生で『結婚』に対して、昔と違って意識が向いていないと感じる。スマホなど他方面に意識が向いてしまうからだろうか。

DX 推進に移行しなければならないのは理解している。高齢者が増え続ける中、フォローまでできるのか。できなければ事件に巻き込まれる可能性もある。自分で自分を守る術を持たなければ。

独居高齢者の緊急通報システムについてだが、玄関先に ALSOK のステッカーを貼ることにより、その家が独居高齢者世帯であることが分かってしまう。

〈佐藤町長〉

データがあり、読み取り、良いところは伸ばし、マイナスなところは抑える。ただ、データに引きずられないようにするべき。DX推進について、実際に防災タブレットも 300 件～400 件ほどお断りをいただいている。防災情報を掲載しているため、本来は全世帯を回り設置を促す必要があるが……。ハードルは下がらない。今年度も声掛けを続ける。今や高齢者にこそDXと言われている。効果もある分、詐欺事件などのリスクも高いので十分なフォローが必要。

緊急通報システムに関して、昨年度初めまでは広域消防で事業を実施しており、消防本部に直接通報される機械だった。しかし、固定電話を設置している世帯でないとシステムを利用できないというデメリットがあり、昨年度 ALSOK へ移行した。玄関先に ALSOK のシールが貼られていることにより、その家が守られていることが分かる反面、独居高齢者であることを知られてしまう難点もあると、聞いていて思った。事業を進めながら改善していく必要あり。

〈男性 7〉

消防団員が年々減少しているなか、今年度は珍しく 15 名入団。これから心配なのは災害発生時の対応である。消防団OBで、『機能別消防団』を結成した。若い団員は日中仕事であり、日中に発生した災害等の被害を最小限に抑えることが目的。他市町村でもOBの方々に結成しているところがある。一番必要なのは資機材であり、近くにないと動くことができない。緊急で中心部に設置をお願いしたい。それから消防団員の負担の軽減について、郡の支部大会が無くなり、町で操法大会や演習を行っている。仕事前早朝と仕事終わりの時間を使い練習に励んでいる。練習時間の見直しをしていかなければならないと思っている。

〈佐藤町長〉

資機材が分散している。まだ具体的な話は進んでいないが、旧中央公民館跡地に設置場所を検討中。OBの方々、大変力強い。支部大会の廃止等、現役団員の負担軽減もここ数年行っている。

〈女性 2〉

改訂後の書類は後日配布か。

〈事務局〉

全戸に配布は行わない。HPIにPDFで掲載。全て公表しなければならない決まりがあるため、ページが多くなってしまいが省略せず載せる。概要版もあるので示したい。

〈女性 2〉

見やすくしてほしい。これだけの量があるとどこを見たらいいかわからない。

〈事務局〉

A3版1枚にまとめられているものもある。

本日提出いただいたアンケートを反映させる必要があるため、今日お渡しはできない。改訂後、広報かねやまにも掲載する予定。

②補助事業等評価について(令和6年度物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金)

〈事務局〉

国の補助金がおりにる。昨年度当町では、1人につき1万円分のみすぎちゃん商品券を配布。おおむね効果があったと思われる。

【意見】

〈事務局〉

(以下提出されたアンケートの記載内容読み上げ)

- ・低所得者の子育て世帯に対する5万円の給付について、提出率が100%であることから、告知をしっかりと出来ているのだと思う。
- ・物価高騰対策町民応援商品券について、家計も助かり、良い物価高騰対策と思われるが、郵送料や手数料がかかりすぎているのではないかと。整理券を用い、町民に取りに来てもらえばいいのでは。
- ・その他、「①非常に効果があった」と「②効果があった」の回答がほとんど。

〈佐藤町長〉

たしかに費用はかかっている。小さい町だと他の方法もあるような気もするが、事務費が交付されているため活用している。昨年度は1人1万円分のみすぎちゃん商品券の発行や、低所得者向けの給付金支給を行った。これらの事業を町単独で実施するのは難しい状況。今年度の交付金は金額的には小さい規模となっている。昨年に引き続き、町民全体への支援となると不十分である。現在検討中である。

③これからの金山について

【意見】

〈男性 7〉

移住者へどのような補助制度があるか。

〈事務局〉

県の事業で、米・味噌・醤油を 1 年分助成している。他にも住居・空き家内見、リフォーム補助など。金山に住所がある方のうち東北農林専門職大学に入学する方へ 10 万円の補助金支給で普通自動車運転免許取得に係る費用の助成がある。

〈男性 7〉

子育て関係についてどのような補助があるか。

〈事務局〉

保育料・副食費無償化。大学や専門学校などの課程修了後、金山町へ戻ってくる方に対して奨学金の半額免除。他市町村では独自で子育て世帯に何十万と助成しているところもある。そのあたりも金山町に合う支援策を考えるべき。今年度の職員プロジェクトチームの中でもテーマとなっている。

〈男性 7〉

手厚く頼む。

〈佐藤町長〉

どの市町村も頑張っている。

子育て支援については、管内平均より手厚いと思う。移住者への現金支給について、研究の余地がある。

○一人ずつお話

〈男性 1〉

昨年に引き続き委員をしている。意見が重複するところもあるかもしれない。

消防団員の若者の割合が少ない。歯止めをかけなければと思う。〈男性 7〉さんのご意見に賛同。一消防団員として気を引き締めていく。

DX推進について、昨年、防災士資格を取得した。一回目顔合わせ会に出席した。提案だが、消防団、そして防災士の双方の規律は大事だが、防災士を消防団で積極的に取り入れると良いと思う。以前町担当者が、「防災士は各地区に1名は設置したい。」と話しているのを聞いた。防災士の資格を取ると、防災タブレットに災害の写真をアップロードすることができる。万が一、災害が発生した際に役に立つと思う。

街なか町営住宅について、所得が増えると家賃も高くなる。4～5 世帯から、住宅から離れなければならない、入りたくても入れないと話を聞く。このままでは街なか町営住宅自体が空き家になるということが生じてくる。国の交付金関係など事情は分かっているが対応をお願いしたい。

〈男性 2〉

自分が営んでいる店でお客さんからいろんな話を聞く。高規格道路の延伸でアクセスが楽になる。近隣市町村にアパートを借りたとしても金山や新庄に通いやすい。若者が、恋人と同棲するとなったとき、今現在町内で住めるところがあるのか。若者が町内に住もうとしたときに、家賃等は現実的であるか。兄弟がいると実家を出なくてはならない場合が多い。町内企業の店長は、

金山に住みたいため内見など物件探しをしているが難しいと話していた。新庄市大手企業では、秋田県在住社員を送迎したり、新庄市内のアパートに居住させたりしている。いきなり住宅建設はハードルが高い。定住特典などがあれば良いのだが。

〈男性 3〉

2年前に神奈川から妻の実家がある真室川に越してきた。結婚して子どもを産んだ時に最上地域への引越しを決めた。どこに住もうか考えたが、比べてもどこも同じだと感じたため、妻の実家がある真室川へ。首都圏から引越しをすると100万円助成など、金山独自の施策があればと思う。

職場にいる金山町民からの意見として、車で買い物をすることが多いが、移動販売などを、それこそタブレットを使い少しのワンタッチ操作でDXと絡めてできないか。健康推進事業に移動販売の特典をつけるといいのでは。

〈男性 4〉

山形市からUターンをした2児の親。町の保育料・副食費の無償化ありがたい。自然豊かで、子どもも金山での生活を楽しんでいるが、休日に遊ばせる場所がない。

社会増減について、転入も10名ずつくらい増えている。理由を分析すれば対応すべきことが見えてくるのでは。

DX推進について、町と連携業務があるが、書類のやり取りをさらにDX化できるのでは。

〈女性 1〉

生まれ育った町。街並み景観条例やまちづくり基本条例など子どもころから耳にしており、それらを誇りに思っている。

子どもたちにどう成長してほしいかを考えた。保護者として思うのが、進学のための学習だけでなく、金山学などに力を。幅広く町民に発表したり、機会があればメディアで取り上げてもらったり。そうすれば何かしらの発展につながる。子どもが高校に進学した。最上地域で「地元のために」という言葉をよく耳にする。一度町外へ転出した子どもたちに、戻りたいと思ってもらえる地域づくりを行って欲しい。

〈女性 2〉

〈女性1〉さんから景観の話に触れてもらい嬉しい。民間企業が町内にアパートを建てるのが実現しないのはなぜか。一度町外に転出したとしても、また戻ってきて活躍したいと思える町であれば誇りに思える。

建物をただの箱として見ずに、木造住宅は使い次第で何百年ももつ。新しいものは良いと思うが、金山らしい取り組みを大事にしながら町づくりをしてほしい。なかなか大変なものわかる。町民の意識の低下も否めない。金山の景観が持つ力を引き継いで欲しい。

〈男性 5〉

当社でも求人活動を行っているが現状厳しい。新入社員より退職者の方が多い。そこで各企業の代表と若者との座談会を開催してみてもどうか。企業の仕事内容の紹介など、興味を持ってもらえるのではないかと。若者は福利厚生の実質やワーク・ライフ・バランスが重要。プロジェクト

Kの年齢幅を広げるのもいいのでは。

〈女性 3〉

金山は子育て支援が手厚いとの声を多く聞く。

全体的に老朽化施設が多い。職場で、ふれスポの体育センターのトイレが和式で子どもが使いつらく、洋式にしてほしいという声が多くある。

〈女性 4〉

今回初の参加となる。団体に関してお話させていただく。女性団体連絡協議会というのは、商工会、婦人会、農協女性部、交通安全母の会で構成されている。団体の高齢化が進んでいる。60～70代がほとんどで会員数も少ない。今後どうやっていくか話をしているところ。とりあえず今を元気に楽しむことを大切にしている。

〈男性 6〉

親として、町での子育て環境は最高だと思う。子どもは、「金山が好き」と言う。自分は鶴岡出身で、子どものころは同年代としか遊んでいなかった。この町の自然環境やめぐたま、年代問わず一緒に遊ぶなど、金山ならではと感じている。しかし遊ぶ場所が町内にない。カムの遊具が充実化し、高齢者の健康遊具もあればいいと思うが、とはいえ子どもたちの満足度は高いものだと思う。かねやま未来ビジョン宣言に、『ハッピーな暮らし』とあるが、実際に幸福度はプラスなイメージであると思う。子どもたちと話をしてみると大きなヒントが得られる。

移住に力を入れていかなければならないと思うが、今現在町に住んでいる人に目を向け、その人たちの満足度を高め、それを他所に発信する。それだけで十分だと思う。テレビでよく他市町村のPRを目にするが、そこに住んでいる人が幸せそうだと魅力的に感じる。

DX推進に関して、高齢者のハードルが高いのは当然のこと。この前、90代女性から、「Google検索はできるが、Yahoo!検索はどうすればいい」と訊かれた。まるで最近スマホを持ち始めた子どもが言うようなことを質問されて驚いた。タブレット操作が認知症予防につながるのでは。分からないところを聴き合う、教え合うことで交流となり、輪が広がる。みんなで集まった時に話のネタになり、高齢者同士での会話も生まれる。魅力的と感じた。

〈男性 7〉

十日町ボランティアをしている。手作り弁当を高齢者世帯と老人クラブに作り、配布するもの。年2回のみだが、みんな楽しみにしてくれており自慢の事業である。会員は30名ほど。県から補助金をもらい事業を実施している。廃品回収での補助金ももらっている。東日本大震災発災から続けている。これからも交流を深めながら地域を盛り上げていきたい。

公民館大会、講演会だけでなく意見を共有できる場を設けようと検討中。

○佐藤町長から皆さんに対するコメント

(男性 1へ)

町でも防災士を増やしていきたい。各地区1人以上を目指している。いざ発災の際は引っ張っ

てもらいたい。

住宅家賃について、町からの支援は難しい。国のお金を使って建てたため家賃など町で決めることができない。7年半住み続けると購入できるが売買価格も下がらない。これまで1件も売買契約は成立していない。継続課題。

(男性 2 へ)

道路が延伸になるほど町に人が来やすくなる。他市町村に住み、金山町に来るといよりは、まず金山町に住んでもらい、買い物や仕事などで他市町村に出向いてもらう方が良い。

民間アパートを誘致する計画は一時期あった。建設時に町でもお金を出し、家賃を安くできればと思っていた。景観審議会から様々な意見を頂戴し、却下に至った。今後も検討していきたい内容。

(男性 3 へ)

奥様が真室川出身であれば、真室川を選ぶのは当然とも言えるかもしれないが、近隣市町村と比較した際に、金山町を選んでもらうための秀でた支援策が必要。

デマンドハイヤーを使って買い物等利用していただいている。75 歳以上の高齢者は片道 200 円でご利用いただける。移動販売については、検討を要する。

(男性 4 へ)

地域振興施設の検討中。子供たちが利用できるスペースを念頭に置いている。無償化などの制度も行っているが、それだけで十分かと言われるとそうでもないところでもある。

書類のやりとりについて、ペーパーレス等少しずつ進んでいる。期待していて欲しい。

(女性 1 へ)

子どもたちの発表の場が足りていない課題をどう増やしていくか、検討課題だと思う。社会転入について、一度町を離れたとしても戻ってきてもらうことが大事であり理想的といえる。

(女性 2 へ)

金山らしさを守って欲しいという、〈女性 2〉さんならではの意見をいただいた。新しい家の建て方に魅力を感じるというのも実際あると思う。移住発展を考えていく必要がある。

(男性 5 へ)

座談会について、輪を広げられる。どういった形で開催できるか考えていく。

(女性 3 へ)

これまで取り組んできたことが十分でないと思いながら邁進する。トイレの件、確認して改良に向け話していく。

(女性 4 へ)

これからの皆様の健闘を祈っている。機会があれば生の声を聴きたい。

(男性 6 へ)

子どもたちの遊ぶ場所については不十分なところがある。DX・タブレットに関して良い交流の話が聞けた。これからもっと拡大していく。

(男性 7 へ)

長年のボランティア活動、すばらしいと思う。

公民館大会について、近頃マンネリ化してきているという声があり、役員の方に沢山考えてもらっている。101年目としていいものが出来ればと思う。

④その他

〈男性1〉

話を聞いていて、他所から見た時に近隣市町村との差がないと思った。店でも悪い話はあまり聞かない。いいことをやってはいるんだろうが、それが町民に伝わっていない。情報が多すぎるのかと。例えを言えば、空き家リノベの写真や費用などのモデルケースを示す。言葉だけだと不透明。新しく金山に合った住宅のあり方を提案してもいいんじゃないか。それらを示すことで空き家対策の一助になると思う。

〈佐藤町長〉

現代風の部分を取り入れるのは、これからの金山の景観の発展にとって大事なことだと思う。

〈佐藤町長〉

いずれにせよ具現化できる計画であって欲しい。

○閉会

〈事務局〉

他課にも共有する。これからもまちづくりを気にかけて欲しい。本日はありがとうございました。